

<一般委託>

(「屋外清掃」「建物清掃」「有人警備」「剪定・樹木伐採」用)

田浦地区公園植物管理業務（一般委託）仕様書

田浦地区公園植物管理業務に基づく内容は、本仕様書の定めるところによる。

1	目的	別紙「業務仕様書」参照
2	履行期間	令和2年10月1日から令和3年3月31日まで
3	施行場所	横須賀市船越町2-31-9ほか
4	業務内容	別紙「業務仕様書」参照
5	特記事項	この契約で示した内訳単価以外を使用する場合には、別途協議により決定する。
6	関係法規	なし
7	資格要件	<p>本業務履行については、入札参加申請時点で「造園施工管理技士」又は「街路樹剪定士」の資格を有するものを雇用しており、履行期間を通じて当該資格を有する者の指導のもとに業務を履行することができること。</p> <p>なお、本業務の入札参加条件として、平成29年4月1日から令和2年3月31日までに履行した、横須賀市が発注した業務（剪定・樹木伐採）について、次のアからウまでのすべてに該当すること。</p> <p>ア 業務委託成績評価の対象となる契約において、A又はBの評価を1案件以上受けた実績を有すること。（履行期間が3か月以上のもの）</p> <p>イ 業務委託成績評価の対象となる契約において、D又はEの評価を受けたことがないこと。</p> <p>ウ 評定点の合計を平均した点数が85点以上であること。</p>
8	契約方法	単価による業務委託契約（一般委託）
9	支払方法	本件は2回払い（12月・3月の末締め）で、実際取引数量をもって受託者の請求により精算する。ただし、消費税として精算額に、税率相当額を加算（円未満の端数切捨て）するものとする。
10	業務委託成績評価	対象 ・ 非対象
11	現場代理人の配置	必要 ・ 不要
12	その他事項	<p>業務の施行にあたっては、本業務仕様書を優先適用するほか、令和2年4月改正の「神奈川県土木工事共通仕様書」によるものとする。</p> <p>年度当初に委託者と受託者の両者が合意し、本市議会において当該予算が承認された場合、翌年度の4月1日から9月30日まで、本契約と同条件で契約する予定である。</p> <p>なお、受託者が当該契約を締結する意思がない場合等については、履行期間満了日の1か月前までに通知すること。</p> <p>その他、この仕様書に定めのない事項及び疑義を生じた場合は、別途協議するものとする。</p>
13	監督員 連絡先	環境政策部公園管理課 担当 齊藤 浩一

<指示又は希望事項>

グリーン 物品購入 及び 環境配慮 関係	<ul style="list-style-type: none"> この業務を施行するにあたって、仕様書でグリーン物品購入の指示がある場合は、横須賀市グリーン購入基本方針及び調達方針に基づく環境物品等を納入すること。また、仕様書で特に指示がない場合で委託代金に物品等の購入経費が含まれている場合は、できるだけこの方針に基づく環境物品等の調達をお願いします。 （上記方針については、本市のホームページ「よこすかのグリーン購入」参照） 本市は、独自の環境マネジメントシステム（YES）により事務事業の環境負荷低減に努めているので、受託者においてもできる限り環境に配慮して業務を執行するようお願いいたします。
----------------------------------	---

内 訳 表

田 浦

(税 抜 き)

種 別	細 別	単 位	予 定 数 量	上 限 単 価	契 約 単 価
剪 定	常緑樹基本剪定 幹周30～59cm	本	250	14,880	
	常緑樹軽剪定 幹周15～29cm	本	250	6,277	
	刈込物手入(手刈り) 樹高1.5m未満	m ²	100	562	
	刈込物手入(機械刈り) 樹高1.5m未満	m ²	100	342	
	生垣手入(手刈り) 樹高0.75m未満	m	95	360	
	生垣手入(機械刈り) 樹高0.75m未満	m	95	221	
	藤手入(棚部)	m ²	80	7,707	
病虫害防除	天狗巣病枝切除	本	5	19,268	
施 肥	施肥(中低木) 0.05kg/株使用 高度化成15-15-15	本	10	223	
	施肥(寄植え) 0.1kg/m ² 使用 高度化成15-15-15	m ²	10	92	
伐 採	立木伐採(枯損木処理) 人力 幹周20～29cm	本	60	2,828	
	立木伐採(枯損木処理) チェーンソー刈り 幹周20～29cm	本	60	2,610	
	笹伐採 樹高2.0m以下	m ²	60	1,926	
	竹伐採 樹高4.0m以下	m ²	60	12,524	
除 草	人力除草	m ²	700	410	
	草取(人力) カヤ等・除根含む	m ²	330	697	
	機械除草 肩掛式	m ²	3,200	146	
	機械除草 ハンドガイド式	m ²	850	102	
急傾斜地 樹林地用	枝落とし 胸高直径11～20cm 吊るし切り	本	60	12,720	
	伐倒 胸高直径11～20cm 吊るし切り	本	60	18,056	
	笹伐採 樹高2.0m以下	m ²	60	2,890	
	竹伐採 樹高4.0m以下	m ²	50	18,304	
	除伐・つる切り	m ²	45	148	
その他	灌水 一般	m ²	5	165	
	支柱撤去 木製支柱各種	組	5	2,090	
発生材処理 (運搬費込み)	焼却処分(横須賀ごみ処理施設)2t積トラック 田浦行政センター管内8.6km	kg	1,500	42	
	資源化(積替保管施設)2t積トラック 田浦行政センター管内9.5km	kg	13,200	42	
	資源化(民間処理施設 枝・幹)2t積トラック 田浦行政センター管内9.9km	kg	20,000	52	
	資源化(民間処理施設 竹)2t積トラック 田浦行政センター管内9.9km	kg	1,000	75	

※ 契約単価欄は、契約者が記入する。

※ 契約単価は、各項目ごとに定めた上限単価以下とすること。

※ 予定数量に契約単価を乗じた金額(税抜)の総額を入札金額とすること。

業 務 仕 様 書

1. 業務目的 本業務は、公園内の樹木等を常に良好な状態に維持出来るようにするため、樹木剪定・除草等の年間植物管理を施行するものである。
2. 施行場所 施行場所は、別紙「公園一覧表」の通りとする。
3. 履行期間 **令和2年10月1日から令和3年3月31日まで**
4. 一般事項
 - (1) 受託者は本仕様書に基づき、監督員の指示に従って、業務内容を速やかに履行すること。
特に、市民要望等の緊急に要する業務内容は原則として、監督員からの指示後、早急に作業に着手すること。
 - (2) 業務実施に当たっては、年間植物管理業務であることを理解し、事前に業務履行に偏りが無い、平準化した業務計画を施行計画書として作成・提出し、業務の適正な履行に最大限努めること。又事前に作業月ごとの工程表を提出し、監督員の承諾を得ること。
 - (3) 植物管理業務の目的及びその管理業務が及ぼす影響の大きさを十分認識し、特に生き物としての植物に対する細心の注意と愛情を持って業務に取り組むこと。
 - (4) 業務作業時には、公園利用者の安全には十分注意し、怪我・損傷等を生じた場合には受託者の責任において処置すると共に監督員に報告すること。
なお、公園内の施設にも配慮し、その機能及び利用等に支障をきたす恐れのない様、十分注意して万全の策を講ずること。
 - (5) 受託者は業務完了後、速やかに完了届及び業務写真・報告書等を監督員に提出すること。
 - (6) 本業務には、業務に必要な作業区域内における発生物の収集、片付け、小運搬、清掃等が含まれている。
 - (7) 樹木管理時に用いる機械器具及び消耗品等は、すべて受託者の負担とする。
 - (8) 本仕様書に定める事項について、疑義が生じた場合及び定めのない事項が生じた場合には、監督員の指示に従うこと。

5. 業務内容

業務内容	
1) 樹木管理	
① 高木剪定	基本剪定（常緑樹手入：幹周30cm～59cm）
	軽剪定（常緑樹手入：幹周15cm～29cm）
② 刈込物手入	手刈り（樹高1.5m未満）
	機械刈り（樹高1.5m未満）
③ 生垣手入	手刈り（樹高0.75m未満）
	機械刈り（樹高0.75m未満）
④ フジ手入	棚部剪定
⑤ 病虫害防除	天狗巣病枝切除
⑥ 施肥	中低木施肥
	寄植え施肥
⑦ 立木伐採	人力（幹周20cm～29cm）
	チェーンソー（幹周20cm～29cm）
⑧ 笹伐採	樹高2.0m以下
⑨ 竹伐採	樹高4.0m以下
2) 除草	
① 人力除草	
② 人力草取（カヤ等除根含む）	
③ 機械除草（肩掛式）	

業務内容
④機械除草（ハンドガイド式）
3）急傾斜地樹林管理
①枝落とし（胸高直径11cm～20cm）
②伐倒（胸高直径11cm～20cm）
③笹伐採 樹高2.0m以下
④竹伐採 樹高4.0m以下
⑤除伐・つる切り
4）その他
①灌水
②支柱撤去 木製支柱各種
5）発生材処理（運搬費込み）
①焼却処分（横須賀ごみ処理施設「エコミル」）
②資源化（積替保管施設）
③資源化（民間処理施設） 枝・幹
竹

6. 業務仕様

（1）樹木管理

- ① 剪定時期については、各樹木の適期に施行することとし、事前に監督員の承認を得ること。
- ② 高木剪定は、基本剪定と軽剪定とし、その方法は次の通りとする。
 - ア. 基本剪定は、樹木の骨格づくりを目的とするもので、主として冬季剪定に適用する。

密生した枝や不必要な枝を整理し、維持管理上必要とされる大きさに樹形を整えることを原則とする。

なお、特に監督員より指示がない場合には、切詰め、切返し、枝おろし剪定等で大きく縮小する縮小剪定を行うこと。

イ. 軽剪定は、樹冠の整正、込みすぎによる枯損枝の発生防止などを目的とするもので、主として夏季剪定に適用する。

切詰め、枝すかし（枝抜き）などが主体となり、全体として枝葉量を減少させることを原則とする。

ウ. 高木剪定の基本剪定は、常緑樹の幹周（30～59cm）を基準とし、軽剪定は、常緑樹の幹周（15～29cm）を基準とする。

樹種や幹周の異なる場合は別紙「換算表」により精算すること。

エ. 太い枝を剪定した時には、必要に応じて切り口に癒合剤を塗布すること。

オ. 切り取った枝葉は、公園内には放置せずに、速やかに場外へ片付けること。

③ 刈込物手入については、樹冠を縮小させる事を目的とし、刈込み鉋及び剪定機により作業を行うこと。

なお、防犯上の配慮として、寄植え植栽によって園内に死角を作らないようにするため、全体としてまとまりのある形状で見通しを良くする様な刈込み作業を行うこと。

さらに、公園施設に面している植栽の刈込み作業に当っては、鋭利な切断面が生じない様に切戻しなどの適切な作業を行うこと。

監督員の指示により、仕上げ高を決定すること。

なお、樹高1.5m未満を基準とし樹高の異なる場合には別紙「換算表」により精算すること。

④ 生垣手入については、帯状に列植された植栽を天端部分を揃え、一定幅に定めて、両面を刈込むこと。

監督員の指示により、仕上げ高を決定すること。

なお、樹高0.75m未満を基準とし樹高の異なる場合には別紙「換算表」により精算すること。

⑤ フジ手入については、適切な時期に実施すること。作業は、花芽を残し、枯れ枝、込みあった枝、長すぎる枝を剪定すること。

⑥ 天狗巣病枝切除は、適切な時期に実施すること。切除枝は焼却処分すること。

⑦ 立木伐採については、幹周20～29cmを基準とし、幹周の異なる場合には、別紙「換算表」により精算すること。

⑧ 笹・竹伐採は地際で行うものとし、切り口は危険が無いように適切な処理をすること。

（2）除草

① 除草については、主に機械草刈（ハンドガイド式又は肩掛式）を適用すること。

ハンドガイド式機械除草については、施工面積が広い箇所で適用するも

のとし、肩掛式機械除草は急傾斜地等でハンドガイド式が用いられない箇所
所で適用すること。

なお、機械除草が出来ない場合には、人力草刈とする。

- ② 平地での作業は、繁茂している雑草を地際より丁寧に刈取ること。
法面での作業は、表土の崩落を防ぐため、地際より多少残して刈取ること。
なお、周辺の樹木等を傷つけない様十分注意すること。
- ③ 刈取った雑草は、その日の内に運搬処理すること。
やむなく処理出来ない場合には、公園利用者の妨げとならない場所に一
時仮置きし、その際、草が飛散しない様シート等で覆っておくこと。
- ④ 作業終了後は、作業区域内の清掃を行い、発生材等ゴミが無いようにす
ること。

(3) 急傾斜地樹林管理

- ① 枝落とし・伐倒については、都市林等の急傾斜地内で作業を行う場合に
適用し、吊るし切り作業により枝・幹を安全に降下させること。
なお、胸高直径（11～20cm）を基準とし、直径の異なる場合には別紙
「換算表」により精算すること。
- ② 除伐・つる切りは幹周10cm未満の実生木やつる性植物などをチェー
ンソー、なた等を使用して除伐すること。
なお、フェンスや樹木等に巻きついていたり、枝が垂れ下がっているつ
る性植物も除去すること。
刈取ったつる等は、速やかに運搬処理すること。

(4) その他

- ① 灌水については、主に夏季の乾燥時期に必要な応じて行うこと。
なお、灌水作業中は来園者の迷惑とならない様に十分注意して行うこと。
用水は受託者の負担とする。
灌水時間は、夏季の場合、日中を避け朝又は夕方とする。
- ② 支柱撤去については、支柱材が朽ちて来園者に危険となる物や支柱とし
て役割が無くなった物を撤去すること。
支柱取外しに当たっては、樹木の根及び幹を損傷しない様に十分注意し
て行うこと。

(5) 発生材処理（運搬費込み）

原則として、作業を行った公園から、可能な限り分別して処理施設まで
運搬し、処理を行うこと。

なお、横須賀ごみ処理施設「エコミル」及び積替保管施設に搬入する場
合は、必ず2名以上で行うこと。

7. 出来形管理（公園別）

(1) 業務箇所図について

業務範囲及び業務内容が明確になるように図示すること。

(2) 業務集計表について

業務内容ごとに集計をすること。

なお、高木剪定・刈込物手入・生垣手入・立木伐採・枝落とし・伐倒については、換算表に対応するように集計すること。

なお、業務量を把握するために必要な根拠資料も監督員と協議の上、提出すること。

(3) 写真管理について

状況写真（施行前・後）等の撮影頻度は、原則として下表により撮影すること。

業 務 単 位	撮 影 頻 度
本 数	作業量の10%+1枚
面積・延長	作業量の0.2%

なお、竹を処理施設へ搬入する場合は、搬入したことが分かるように、必ず写真を撮影すること。

(4) 発生材処理量について

処理施設での処理量は、計量による値を用いること。なお、搬入に用いる処理施設において、計量を行わない処分方法の場合は、事前に監督員と協議のうえ、処理量を定めること。

8. その他

(1) 環境配慮推進の取組みについて

本市では、現在及び将来の市民が持続的に環境の恵みを楽しむ横須賀の実現を目指し、横須賀市環境マネジメントシステムを構築し、全ての事務・事業における環境配慮の推進に取り組んでおりますので、貴社におかれましても、このシステムの趣旨をご理解のうえ、環境保全活動への、ご協力をお願いいたします。

(2) 環境保全活動に係る提出資料について

受託者は、廃棄物処理（剪定枝、草等）について、地球環境保全等の促進を図るために、処理施設の計量票または資源化を証明出来る書類を提出すること。

(3) 本仕様書に明示なき事項であっても、業務遂行上必要な事項及び受託者の瑕疵事項については、受託者の負担により処理すること。

(4) 受託者は、本委託を一括して他人に請け負わせてはならない。

令和2年度 換算表

1.高木剪定

①基本剪定

常緑樹手入の幹周30cm～59cmを基準値とし、下表の換算表により 精算する。

幹周	換算値		
	常緑樹	落葉樹	針葉樹
30cm未満	0.70本	0.28本	0.74本
30～59cm	基準値	0.54本	1.1本
60～89cm	1.6本	1.0本	2.2本
90～119cm	2.6本	2.6本	4.7本
120～149cm	4.9本	4.9本	10.0本
150～179cm	8.3本	8.3本	15.0本
180～209cm	12.0本	12.3本	20.0本
210～239cm	16.0本	16.6本	25.3本
240～269cm	20.3本	21.6本	30.3本
270～300cm	25.0本	26.7本	35.4本

②軽剪定

常緑樹手入の幹周15cm～29cmを基準値とし、下表の換算表により 精算する。

幹周	換算値		
	常緑樹	落葉樹	針葉樹
15cm未満	0.41本	0.10本	0.21本
15～29cm	基準値	0.35本	0.90本
30～59cm	1.5本	0.74本	1.7本
60～89cm	2.4本	1.6本	3.2本
90～119cm	4.1本	4.0本	8.9本
120～149cm	7.4本	7.4本	16.4本
150～180cm	12.3本	12.4本	24.7本

2.刈込物手入

①手刈り

樹高1.5m未満を基準値とし、下表の換算表により 精算する。

樹高	換算値
1.5m未満	基準値
1.5～2.5m未満	2.1㎡
2.5m～	3.0㎡

②機械刈り

樹高1.5m未満を基準値とし、下表の換算表により 精算する。

樹高	換算値
1.5m未満	基準値
1.5～2.5m未満	2.6㎡
2.5m～	3.6㎡

3.生垣手入

①手刈り

樹高0.75m未満を基準値とし、下表の換算表により 精算する。

樹高	換算値
0.75m未満	基準値
0.75～1.5m未満	2.0m
1.5m～	6.8m

②機械刈り

樹高0.75m未満を基準値とし、下表の換算表により 精算する。

樹高	換算値
0.75m未満	基準値
0.75～1.5m未満	2.0m
1.5m～	8.3m

4.立木伐採

①人力刈り

幹周20cm～29cmを基準値とし、下表の換算表により 精算する。

幹周	換算値
20cm未満	0.64本
20～29cm	基準値
30～59cm	3.9本
60～89cm	10.0本
90～119cm	20.2本
120～149cm	30.4本
150～199cm	49.8本
200～250cm	122.1本

②チェーンソー刈り

幹周20cm～29cmを基準値とし、下表の換算表により 精算する。

幹周	換算値
20cm未満	0.63本
20～29cm	基準値
30～59cm	3.8本
60～89cm	9.5本
90～119cm	18.1本

5.急傾斜地樹林管理

①枝落とし

胸高直径11cm～20cmを基準値とし、下表の換算表により 精算する。

直径	換算値
11cm未満	0.61本
11～20cm	基準値
21～30cm	1.5本
31～40cm	2.5本
41～50cm	4.5本
51～60cm	6.7本
61～70cm	10.1本
71～80cm	15.2本
81～90cm	22.8本
91～100cm	34.2本

②伐倒

胸高直径11cm～20cmを基準値とし、下表の換算表により 精算する。

直径	換算値
11cm未満	0.61本
11～20cm	基準値
21～30cm	1.4本
31～40cm	2.4本
41～50cm	4.4本
51～60cm	6.6本
61～70cm	10.0本
71～80cm	15.0本
81～90cm	22.5本
91～100cm	33.8本

公園一覧表

No.	公園名	所在地	管理面積 (㎡)	備考
1	板取公園	船越町2-31-9	2,472	
2	南郷公園	船越町4-6	4,430	
3	梅田公園	船越町7-58-22	2,454	
4	船越1丁目公園	船越町1-5-8	6,241	
5	船越3丁目公園	船越町3-10-2	8,287	
6	船越3丁目第2公園	船越町3-33-3	622	
7	船越6丁目公園	船越町6-17-40	646	
8	船越6丁目第2公園	船越町6-47-42	1,717	
9	船越6丁目第3公園	船越町6-16-31	2,136	
10	船越7丁目公園	船越町7-12-31	883	
11	船越8丁目公園	船越町8-1-50	2,100	
12	船越8丁目第2公園	船越町8-32-22	1,266	
13	船越8丁目第3公園	船越町8-32-73	983	
14	船越8丁目第4公園	船越町8-10-73	497	
15	船越1丁目都市林	船越町1-22	630	
16	船越1丁目第2都市林	船越町1-30-2	1,028	
17	船越2丁目都市林	船越町2-29-18	976	
18	船越2丁目第2都市林	船越町2-5-1	15,372	
19	港が丘公園	港が丘1-1-91	5,584	
20	田浦1丁目公園	田浦町1-49-1	411	
21	田浦公園	田浦町4-7-1	847	
22	田浦町5丁目都市林	田浦町5-21	9,465	
23	田浦町5丁目第2都市林	田浦町5-56	5,724	
24	田浦6丁目都市林	田浦町6-37	1,400	
25	田浦6丁目第2都市林	田浦町6-30	3,452	
26	池の谷戸公園	田浦町6-1-28	16,960	
27	田浦梅の里（飛地）	田浦泉町92	168,730	
28	田の浦公園	長浦町1-20-1	2,600	
29	長浦2丁目公園	長浦町2-45-9	227	
30	長浦3丁目公園	長浦町3-60-3	428	
31	長浦3丁目第2公園	長浦町3-106-1	517	
32	長浦1丁目都市林	長浦町1-38	2,225	

※上記以外の公園の作業を指示する場合がある。